

寄稿

今回の公開協議には、反対派の急先鋒に立って活動を続けてきた「舞鶴西地区の環境を考える会」の参加が受け入れられなかった。協議を傍聴席から聴講することとまった同会代表の森本隆氏からの寄稿を以下に掲載する。

「舞鶴西地区の

環境を考える会」

代表

森本 隆

今回の住民説明会の感想ですが、「みっともない」の一言につきまう発言まで飛び出し、舞鶴市も日立造船はあきれ果てました。も始終、言い訳に徹しネットでの反対運動した説明会でした。パーを率先して展開した私△油発電は舞鶴の将来を除外して、反論できぬために必要、住民意ない場に追いやつてか見は尊重する、文明的らの一方的な発言は今

後、遺恨を残すことになりませんでした。だっただけに今回の「みっともないパ

今回は住民説明会でフォーマンズ」は市民はなく、日立造船と舞鶴市の「俺たちは悪くない」というパフォーマンスだったと私は思います。そもそも、今月中に投資業者が現れない場合は計画を停止するのであれば最初にその一言の説明で終わる話でコロナ渦の最中に沢山の市民を危険にさらしてまで「言い訳の説明会」を開催する必要があったのか疑問です。

4月のAMP社の撤退は終始一貫、住民に寄り添った見事な撤退です。今回の反対運動は本当に沢山の方々のお力です。国内は福岡から海外のポリビアまで、名前を挙げれば紙面が埋まり尽くすほど沢山の方々も助けてもらった活動ですがやはり、福知山土師新町の告発が大きかったと感じています。舞鶴の騒動が収まれば今後は福知山の反対運動に参加して恩返しをさせて頂きたいと思えます。